

標準機試験(高専祭デモ)評価

今後のMIRS開発について

2011/11/11

# 標準機動作試験評価

	獲得した得点	画像認識	走行評価	備考	総合評価
1班		○	C+	スムーズな走行をしていた。	7.5
2班			B+	数日前までは、比較的安定して仕掛けをクリアしていた。	8
3班	30	○	A-	練習ではゴールまでたどり着いたことがある。	9
4班		○	B	得点には至らなかったが、小部屋をほぼクリアした。	8
5班	30		C+	得点したのは偶然性によるものだが、競技会を盛り上げた。	8

# MIRS開発の問題点と対応(1)

- 駆動系の動作が安定しない。
  - MPCボードの故障する。
- プロジェクトチームを結成し、解決する。
- 構成
    - 青木先生(ヘッド)、(5年)馬飼野
    - 各チーム駆動系担当1名
  - 期限 12月末
  - 担当を決め、本日13:30分に青木研に集合

# MIRS開発の問題点と対応(2)

- バッテリーに使えないものがある。

→11月21日(月)に、バッテリーのサンプル調査を行う。

- 各チームで、2, 3本のバッテリーを持ち寄って、負荷試験を実施する。
- その後必要があれば、各チームで全品検査を実施する。

# MIRS開発の問題点と対応(3)

- 故障・不具合に対する要因分析が出来ていない。
  - 要因分析を行い、その情報を共有出来るようにする。
    - 故障・不具合が発生して、パーツ交換を必要とする場合、分析シートを提出する。
    - 記載内容は、症状、不具合の個所、不具合の要因
    - 分析シートについては、11月中に詳細を提示する。

# MIRS開発の問題点と対応(4)

- チーム開発に適したソフトウェア開発環境が提供されていない。
- 開発環境を提供する。
- プロジェクト管理、バージョン管理システムと連携する統合開発環境を提供する。
  - 11月25日に、詳細を提示し、ソフトウェア担当者を集めた講習を実施する。

# 今後のプロジェクトチームの活動

- 競技場の扉の再設計
  - 物理的な扉ではなく、LEDを発光させるものを検討する。
- 競技本番用のコース設計
- ポスター作製
- 地域への宣伝
  - 産業プラザのインターンシップ参加者の協力も得る。

# ドキュメントレビュー

- システム提案書
  - 11月11日、14日でレビューを終わらせる。チーム全員参加
- システム基本設計書
  - 原則としてチーム全員参加(プロジェクトで抜けるメンバーはOK)
- 詳細設計書
  - メカ、エレキ、ソフトの担当者単位で行う。  
(中間試験前までに行う。)